

報道関係各位

2025年9月24日
株式会社クロス・マーケティング

気候変動に対する不安は昨年より微増 大雨の増加、農作物の不作、熱中症にかかる、日本の四季がなくなる不安は5割以上

－ 気候変動に関する調査（2025年） －

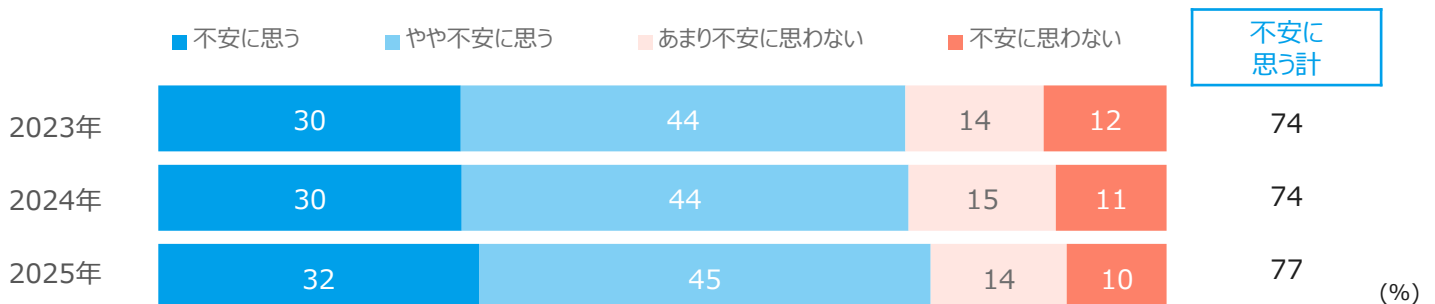
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、2025年9月、全国20～79歳の男女2,400名を対象に「気候変動に関する調査（2025年）」を行いました。気象庁によると、2025年夏の日本の平均気温は、1898年の統計開始以降、これまでの記録を大幅に上回り最も高くなりました。今回は、気候変動による不安、日本の食料自給率に対する不安、自然災害や身体への影響、環境や生態系への影響をピックアップし分析しました。

■調査結果（一部抜粋）

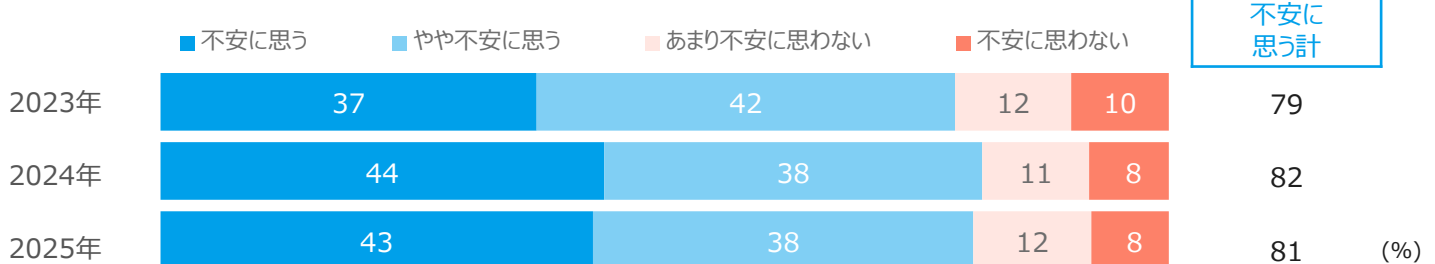
- ✓【現在の気候変動に対する不安】現在の気候変動に対し「不安に思う（TOP BOX）」は32%、「やや不安に思う」45%と合わせて77%は不安を感じている。2023年、2024年に比べ不安感は若干の増加であった。＜図1＞
- ✓【日本の食料自給率】農林水産省発表の“2023年度の日本の食料自給率（カロリーベース）は、3年連続の38%で先進国の中で最低の水準”を呈示した上で日本の食料自給率への不安を聴取した。「不安に思う」は43%、「やや不安に思う」は38%、合わせて81%が食料自給率に不安感を抱いている。2024年は8月に令和の米騒動が始まり「不安に思う」割合は、2023年より7ptも上昇したが、2025年は2024年と同様な結果であった。＜図2＞
- ✓【不安項目】気候変動で起こる自然災害や身体への影響に対する不安は、「大雨やゲリラ豪雨が増える」63%、「農作物の品質低下や不作」58%、「熱中症にかかる」50%。「農作物の品質低下や不作」は昨年より6pt上昇し、不安項目の2番手にあがった。環境や生態系への影響に対する不安では、「日本の四季がなくなる」56%、「日本海域の魚貝の生息域の変化」40%、「水質の悪化や水資源の減少」が32%。昨年と比べ、「日本の四季がなくなる」は8ptの上昇。記録的な猛暑による体感、野菜の高騰から「農作物の品質低下や不作」「日本の四季がなくなる」は、3年連続の増加傾向となった。＜図3・4＞

◆詳細情報は本レポートに掲載しております。 <https://www.cross-m.co.jp/report/20250924climatechange>

<図1> 現在の気候変動に対する不安（単一回答：n=2,400）



<図2> 日本の食料自給率に対する不安（単一回答：n=2,400）

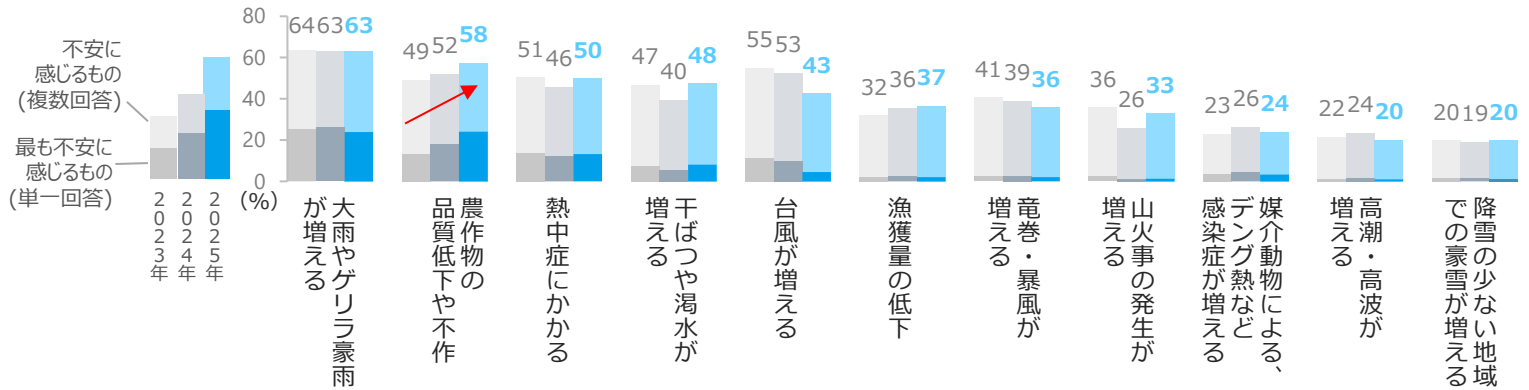


2023年：「2021年度の日本の食料自給率（カロリーベース）は、38%で先進国の中で最低の水準です」と提示し聴取

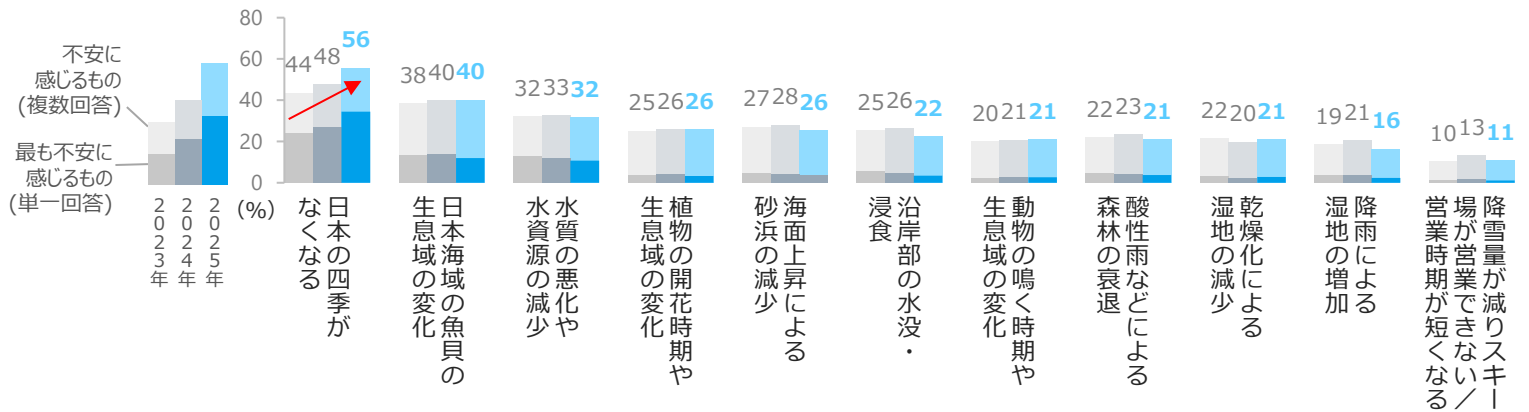
2024年・2025年：「2023年度の日本の食料自給率（カロリーベース）は、3年連続の38%で先進国の中で最低の水準」と提示し聴取

* カロリーベース：国民1人が1日あたりに供給している全品目の熱量の合計（供給熱量：2,426kcal）に占める国産の熱量（国産熱量：918kcal）の割合

<図3> 気候変動で起こる自然災害や身体への影響に対する不安（複数回答・単一回答：n=2,400） ※上位11項目を抜粋



<図4> 気候変動で起こる環境や生態系への影響に対する不安（複数回答・単一回答：n=2,400） ※上位11項目を抜粋



■レポート項目一覧

- ☐ 調査概要
- ☐ 回答者プロフィール（性別・年代・未婚・居住地・同居家族・子どもの有無）
- ▼ 調査結果サマリー
- ▼ 調査結果詳細
 - ☐ 「気候変動適応」の認知
 - ☐ 気候変動に対する不安（現在／5年後／10年後）
- ☐ 気候変動で不安に感じること（自然災害や身体への影響／環境や生態系への影響）
- ☐ 地球温暖化など気候変動の影響により不安に思うこと（自由回答抜粋）
- ☐ 気候変動への対策実施状況
- ☐ 将来、日本に食料危機は起きるのか
- ☐ 日本の食料自給率に対する不安
- ☐ 日本の食料自給率を不安に思う理由（自由回答抜粋）

◆レポートのダウンロードはこちらから

<https://www.cross-m.co.jp/report/20250924climatechange>

■調査概要

調査手法：インターネットリサーチ（クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用）
 調査地域：全国47都道府県
 調査対象：20～79歳の男女
 調査期間：2025年：9月5日（金）～9月6日（土）／2024年：8月25日（水）／2023年：8月25日（金）～26日（土）
 有効回答数：本調査2,400サンプル

【会社概要】

会社名：株式会社クロス・マーケティング <https://www.cross-m.co.jp/>
 所在地：東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立：2003年4月1日
 代表者：代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容：マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルテーション

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当：マーケティング部 TEL：03-6859-1192 FAX：03-6859-2275
 E-mail：pr-cm@cross-m.co.jp

「引用・転載時のクレジット表記のお願い」

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。
 <例>「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります